

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-A-08-0001 改 1
提出年月日	2023年3月 29日

## 原子炉格納容器調気系主配管 要目表

(兼用する原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系，耐圧強化ベント系）並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）主配管を含む)

2023年3月

東北電力株式会社

## 原子炉格納容器調気系主配管 要目表

ホ 主配管

O2 変二 II R2

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
*3 T48-F001 ～ T48-F002出口側合流点	427 *4	171	609.6	9.5	SM41C	変更なし					
			609.6	9.5							
			457.2	9.5							
			609.6	9.5							
			609.6	9.5							
*3 T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	427 *4	171	61.1 *7	(6.1) *7	S25C	*8 T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-80) 変更なし 854 *9 200 *9 変更なし					
			609.6	9.5	SM41C						
*10 ドライウエル入口配管分岐点 ～ サブプレッションチェンバ	427 *4	171	609.6	9.5	SM41C	*11 ドライウエル入口配管分岐点 ～ サブプレッションチェンバ 変更なし 変更なし (31.0) SM400C 変更なし (31.0) SM400C 変更なし (31.0) SM400C					
			609.6	9.5	SM41C						
		104	609.6	9.5	SM41C						
			609.6	9.5	SM41C						
			609.6	9.5	SM41C						
*12 原子炉建屋内 ～ サブプレッションチェンバ入口 配管合流点1	427 *4	104	609.6	9.5	SM41C	変更なし 変更なし 427 104 609.6 (31.0) SM400C					
*12 原子炉建屋内 ～ サブプレッションチェンバ入口 配管合流点2	427 *4	104	61.1 *7	(6.1) *7	S25C						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
*13 T48-F016 ～ ドライウエル入口配管合流点	427 *4	171	457.2	9.5 *5	SM400C *14	変更なし					
			457.2 *6	9.5 *5	SM400C *6, *14						
*15 T48-F010 ～ T48-F011入口側合流点	427 *4	171	60.5	(5.5)	STS42	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし STS410
			61.1 *7	(6.1) *7	S25C				60.5	(5.5)	STS410
			61.1 *7	(6.1) *7					60.5	(5.5)	STS410
			61.1 *7	(6.1) *7	S25C				60.5	(5.5)	STS410
			61.1 *7	(6.1) *7					60.5	(5.5)	STS410
			—	—	—				—	—	—
*7, *11	(6.1)	S25C *11	60.5	(5.5)	STS410 *11						
*15 T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	427 *4	171	—	—	—	*8 T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	427 854 *9	171 200 *9	60.5	(5.5)	STS410
			60.5	(5.5)	STS410						
			60.5	(5.5)	STS410						
*16 ドライウエル補給用窒素配 管分岐点 ～ 原子炉建屋内吸入配管合流 点	427 *4	171	60.5	(5.5)	STS42	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし STS410
		104	60.5	(5.5)	STS42				変更なし	変更なし	変更なし STS410
			*7, *11	(6.1)	S25C *11				60.5	(5.5)	STS410 *11
*17 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	427 *4	171	609.6	9.5 *5	SM400C *14	*18 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	変更なし 854 *9	変更なし 200 *9	変更なし		
			609.6 *6	9.5 *5	SM400C *6, *14						
			609.6	9.5 *5	SM400C *14						
			609.6	9.5 *5	SM400C						
			609.6	9.5 *5	SM400C						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後						
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器調気系	*17 ドライウェル出口配管分岐点 ～ T48-F046	427 *4	171	609.6	□ (9.5)	*14 SM400C	変更なし					
	*19 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ ドライウェル出口配管分岐点	427 *4	104	*6 609.6	*6 □ (9.5)	*6 SM41C	*18 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ ドライウェル出口配管分岐点	変更なし 854 *9	変更なし 200 *9	変更なし	□ (31.0)	*11 SM400C
				609.6	□ (9.5)	SM41C				変更なし *11	□ (31.0)	*11 SM400C
		609.6	□ (9.5)	*14 SM41C SM400C	609.6	□ (31.0)				SM400C		
		変更なし			609.6 *11	□ (17.5) *11				*11 SM400C		
		変更なし			変更なし *6, *14 SM400C							
	—	427 *4	171	609.6	□ (17.5) *5	*14 SM400C	変更なし 854 *9	変更なし 200 *9	変更なし			
				609.6 /	□ (9.5) *20	*20 SM400C			変更なし			
				609.6 /	□ (9.5) *20							
	609.6	□ (9.5) *20		427 *9	171 *9	609.6	□ (17.5)	STS410				
*21 サブプレッションチェンバ出口配管分岐点1 ～ T48-F045	427 *4	171	318.5	□ (10.3) *5	*14 SM400C	変更なし						
			318.5	(10.3) *22	*22 STS410							
			318.5 *6	(10.3) *6	*6, *22 STS410							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器調気系	液体窒素貯槽 ～ パーヅ用液体窒素蒸発器	1.87*4 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP	原子炉格納容器調気系	変更なし*23				
	パーヅ用液体窒素蒸発器	1.77*4 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP		変更なし*23				
	パーヅ用液体窒素蒸発器 *13	0.86*4 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP		変更なし*23				
				165.2	(7.1)	SUS304TP						
				34.0	(3.4)	SUS304TP						
				216.3	(8.2)	SUS304TP						
	パーヅ用液体窒素蒸発器 ～ T48-F016	427*4	66	216.3	(8.2)	SUS304TP		変更なし*23				
				89.1	(5.5)	SUS304TP						
				216.3	(8.2)	SUS304TP						
	液体窒素貯槽出口配管分岐点 ～ 常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77*4 (MPa)	66	457.2	<input type="text"/> *5 (9.5)	SM400C		変更なし*23				
				457.2	<input type="text"/> *5 (14.3)	SM400C						
	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77*4 (MPa)	66	60.5	(5.5)	SUS304TP		変更なし*23				
	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77*4 (MPa)	66	80.0	<input type="text"/> *5 (6.0)	A6063TE		変更なし*23				
				60.0	<input type="text"/> *5 (4.0)	A6063TE						
				31.0	<input type="text"/> *5 (3.0)	A6063S						
31.0				<input type="text"/> *5 (3.2)	A6063TE							
34.0				(4.5)	SUS304TP							
常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用) ～ T48-F010	427*4	66	60.5	(5.5)	SUS304TP	変更なし*23						
			60.5	(5.5)	STPL380							
			60.5	(5.5)	STPT370							
			21.7	(3.7)	STPT370							
常時補給用液体窒素蒸発器出 口配管分岐点 ～ T48-F030	1.77*4 (MPa)	66	60.5	(5.5)	STPT370	変更なし*23						

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

- 注記\*1 : 外径は公称値を示す。
- \*2 : ( ) 内は公称値を示す。
- \*3 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋原子炉棟換気空調系からドライウエルまで (ドライウエル入口配管)」と記載。
- \*4 : S I 単位に換算したものである。
- \*5 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。
- \*6 : エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様を記載しているため、記載の適正化を行う。
- \*7 : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。
- \*8 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可搬型窒素ガス供給系, 原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) と兼用。
- \*9 : 重大事故等時の使用時の値。
- \*10 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル入口配管からサブプレッションチェンバまで (サブプレッションチェンバ入口配管)」と記載。
- \*11 : エルボを示す。
- \*12 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋内からサブプレッションチェンバ入口配管まで (原子炉建屋内吸入配管)」と記載。
- \*13 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「パージ用液体窒素蒸発器からドライウエル入口配管まで」と記載。
- \*14 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。
- \*15 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「常時補給用液体窒素蒸発器からドライウエル入口配管まで (ドライウエル補給用窒素配管)」と記載。
- \*16 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエル補給用窒素配管から原子炉建屋内吸入配管まで」と記載。
- \*17 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウエルから原子炉建屋原子炉棟換気空調系まで (ドライウエル出口配管)」と記載。
- \*18 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系, 耐圧強化ベント系) 並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) 及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) と兼用。
- \*19 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバからドライウエル出口配管まで (サブプレッションチェンバ出口配管)」と記載。
- \*20 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
- \*21 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「サブプレッションチェンバ出口配管から非常用ガス処理系まで」と記載。
- \*22 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
- \*23 : 本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。
- \*24 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。
- \*25 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「液体窒素貯槽出口配管から常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用) まで」と記載。
- \*26 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPL39」と記載。

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備

(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表



(8) 主配管 (常設)

変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系						原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。				
						原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。				
						原子炉格納容器配管貫通部 (X-81)	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。				
						原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。				
						サブプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ~ フィルタ装置	*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				
						フィルタ装置 ~ フィルタ装置出口側ラプチャディスク	*5				
						フィルタ装置出口側ラプチャディスク ~ 排気管	*5				

変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系						*5 フィルタ装置(A) ~ フィルタ装置(B)	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				
						*5 フィルタ装置(B) ~ フィルタ装置(C)					
						*5 フィルタ装置連結管					
						*6 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋外) ~ T48-F011入口側合流点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。				
						*6 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋内) ~ ドライウエル窒素供給配管合流点					
						*4 T48-F011入口側合流点 ~ T48-F002出口側合流点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。				
						*4 T48-F002出口側合流点 ~ 原子炉格納容器配管貫通部(X-80)					
						*3 原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。				
						*6 原子炉格納容器調気系 ドライウエル窒素供給配管分岐点2 ~ 原子炉格納容器配管貫通部(X-281)	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。				

変更前						変更後						
名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系						原子炉格納容器フィルタベント系	*3 原子炉格納容器配管貫通部 (X-281)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。				
							*5 ドライウエル室素供給配管分岐点1 ～ T48-F066	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				
							*5 T48-F066 ～ フィルタ装置入口配管合流点					
							*5 フィルタ装置水補給接続口 (屋外) ～ フィルタ装置					
							*5 フィルタ装置水補給接続口 (屋内) ～ フィルタ装置					

注記\*1 : 外径は公称値を示す。

\*2 : ( )内は公称値を示す。

\*3 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器 (配管貫通部) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*4 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備 (原子炉格納容器調気系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*5 : 本設備は、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*6 : 本設備は、原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可搬型素素ガス供給系) であり、残留熱除去設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備

(耐圧強化ベント系) 主配管 要目表

3.5.3 耐圧強化ベント系  
(8) 主配管 (常設)

O2 変二 II R0

変更前						変更後											
名称	最高使用 圧力 (kPa)	最高使用 温度 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料	名称	最高使用 圧力*3 (kPa)	最高使用 温度*3 (℃)	外径*1 (mm)	厚さ*2 (mm)	材料						
耐圧強化ベント系		—				耐圧強化ベント系	原子炉格納容器調気系	*4	原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。							
								*5	原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ～ ドライウエル出口配管分岐点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。							
								*4	原子炉格納容器配管貫通部 (X-81)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。							
								*5	原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
耐 圧 強 化 ベ ン ト 系		—				耐 圧 強 化 ベ ン ト 系 非 常 用 ガ ス 処 理 系					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並び に格納容器再循環設備 a. 非常用ガス処理系 ル 主配管（常設） に記載する。

注記\*1 : 外径は公称値を示す。

\*2 : ( )内は公称値を示す。

\*3 : 重大事故等時の使用時の値。

\*4 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち原子炉格納容器（配管貫通部）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

\*5 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備（原子炉格納容器調気系）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

\*6 : 本設備は既存の設備である。

\*7 : エルボを示す。

\*8 : 本設備は、既存の原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（非常用ガス処理系）であり、残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）として本工事計画で兼用とする。

圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び

可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備

(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表

ル 主配管 (常設)

変 更 前						変 更 後									
名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料				
原子炉格納容器フィルタベント系						原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。								
							原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。							
						原子炉格納容器配管貫通部 (X-81)					*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。				
						原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*4 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。								
						サブプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ~ フィルタ装置	*5 7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。								
フィルタ装置 ~ フィルタ装置出口側ラプチャディスク	*5														
フィルタ装置出口側ラプチャディスク ~ 排気管	*5														



変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系							原子炉格納容器フィルタベント系	フィルタ装置(A) ～ フィルタ装置(B)	*5				7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。	
								フィルタ装置(B) ～ フィルタ装置(C)	*5					
								フィルタ装置連結管	*5					
							原子炉格納容器フィルタベント系	可搬型窒素ガス供給装置 接続口(屋外) ～ T48-F011入口側合流点	*6					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。
								可搬型窒素ガス供給装置 接続口(屋内) ～ ドライウエル窒素供給 配管合流点	*6					
							原子炉格納容器調気系	T48-F011入口側合流点 ～ T48-F002出口側合流点	*4					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。
								T48-F002出口側合流点 ～ 原子炉格納容器配管貫 通部(X-80)	*4					
							原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	*3					7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。	
						可搬型窒素ガス供給系	ドライウエル窒素供給 配管分岐点2 ～ 原子炉格納容器配管貫 通部(X-281)	*6					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7) 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格 納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 (常設) に記載する。	

変 更 前						変 更 後								
名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最 高 使 用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料			
原子炉格納容器フィルタベント系	—					原子炉格納容器フィルタベント系	*3 7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。							
							*5 ドライウェル窒素供給配管分岐点1 ～ T48-F066							
							*5 T48-F066 ～ フィルタ装置入口配管合流点							
							*5 フィルタ装置水補給接続口 (屋外) ～ フィルタ装置							
					*5 フィルタ装置水補給接続口 (屋内) ～ フィルタ装置					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (9) 圧力逃がし装置 a. 原子炉格納容器フィルタベント系 ニ 主配管 (常設) に記載する。				

注記\*1 : 外径は公称値を示す。

\*2 : ( )内は公称値を示す。

\*3 : 本設備は、既存の原子炉格納容器 (配管貫通部) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*4 : 本設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備 (原子炉格納容器調気系) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*5 : 本設備は、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置 (原子炉格納容器フィルタベント系) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

\*6 : 本設備は、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (可搬型窒素ガス供給系) であり、圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (原子炉格納容器フィルタベント系) として本工事計画で兼用とする。

圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置

(原子炉格納容器フィルタベント系) 主配管 要目表

ニ 主配管 (常設)

変更前						変更後							
名 称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力*3 (kPa)	最高使用温度*3 (°C)	外径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		
原子炉格納容器フィルタベント系						原子炉格納容器フィルタベント系	*4 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					
							原子炉格納容器配管貫通部 (X-230) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*5	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。				
							*4 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部に記載する。					
							原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ~ ドライウエル出口配管分岐点	*5	7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。				
							サブプレッションチェンバ出口配管分岐点3 ~ フィルタ装置 (次頁へ続く)	854	200	406.4	(12.7)	STS410	
										406.4 *7	(12.7) *7	STS410 *7	
										406.4	□ (21.4)	SF490A	
										406.4	(12.7)	STS410	
										406.4	(12.7)		
										406.4	(12.7)	S25C	
					61.1 *8	(6.1) *8							
					406.4	(12.7)	STS410						
					406.4	(12.7)							
					216.3	(8.2)							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後											
名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料						
原子炉格納容器フィルタベント系						原子炉格納容器フィルタベント系		854	200	406.4	(12.7)	STS410					
										/	/						
										216.3	(8.2)						
															216.3	(8.2)	STS410
															216.3 *7	(8.2) *7	STS410 *7
															406.4 *7	(12.7) *7	SUS316LTP*7
															406.4	(12.7)	STS410
															406.4 *7	(12.7) *7	STS410 *7
															508.0	(15.1)	STS410
															/	/	
															406.4	(12.7)	STS410
															508.0	(15.1)	
															508.0	(15.1)	STS410
															/	/	
								508.0	(15.1)	SM400C							
								508.0 *7	(15.1) *7	STS410 *7							
								508.0	(15.1)	STS410							
								/	/								
								-	-	STS410							
								/	/								
								508.0	(15.1)								

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変 更 前						変 更 後						
名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系	—					原子炉格納容器フィルタベント系	*6 フィルタ装置出口側ラプチャ ディスク ～ 排気管	854	200	508.0	(15.1)	SUS316L
										508.0 *7	(15.1) *7	SUS316LTP*7
										508.0	(15.1)	SUS316LTP
										508.0	(15.1)	
										—	—	
										508.0	(26.2)	
										61.1 *8,*9	(6.1) *8,*9	SUS316L*9
										60.5	(5.5)	SUS316LTP
										61.1 *7,*8	(6.1) *7,*8	SUS316L*7
										61.1 *8,*9	(6.1) *8,*9	SUS316L*9
						60.5	(5.5)	SUS316LTP				
						61.1 *7,*8	(6.1) *7,*8	SUS316L*7				
						60.5	(5.5)	SUS316LTP				
						60.5	(5.5)	SUS316LTP				
						60.5 *7	(5.5) *7	SUS316LTP*7				
						60.5	(5.5)	SUS316LTP				
						60.5	(5.5)	SUS316LTP				
						60.5	(5.5)					
						60.5	(5.5)					
						60.5 *7	(5.5) *7		SUS316LTP*7			
60.5	(5.5)	SUS316LTP										
—	—											
60.5	(5.5)											
原子炉格納容器フィルタベント系	*6 フィルタ装置連結管	1.2 (MPa)	200	60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				60.5	(5.5)							
				60.5	(5.5)							
				60.5 *7	(5.5) *7		SUS316LTP*7					
				60.5	(5.5)	SUS316LTP						
				—	—							
				60.5	(5.5)							

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

変更前						変更後								
名	称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	
原子炉格納容器フィルタベント系														
							可搬型窒素ガス供給系	*10 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋外)～T48-F011入口側合流点					7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7)放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 に記載する。	
							可搬型窒素ガス供給系	*10 可搬型窒素ガス供給装置接続口(屋内)～ドライウエル窒素供給配管合流点						
							原子炉格納容器フィルタベント系	*5 T48-F011入口側合流点～T48-F002出口側合流点						7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。
							原子炉格納容器調気系	*5 T48-F002出口側合流点～原子炉格納容器配管貫通部(X-80)						7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (8) 原子炉格納容器調気設備 a. 原子炉格納容器調気系 ホ 主配管 に記載する。
							原子炉格納容器配管貫通部(X-80)	*4					7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。	
							可搬型窒素ガス供給系	*10 ドライウエル窒素供給配管分岐点2～原子炉格納容器配管貫通部(X-281)						7. 原子炉格納施設 7.3 圧力低減設備その他の安全設備 (7)放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 f. 可搬型窒素ガス供給系 ル 主配管 に記載する。

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力*3 (kPa)	最高使用 温 度*3 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系						*4 原子炉格納容器配管貫通部 (X-281)	7. 原子炉格納施設 7.1 原子炉格納容器 (4) 原子炉格納容器配管貫通部及び電気配線貫通部 に記載する。				
						*6 ドライウエル窒素供給配管分 岐点1 ～ T48-F066	854	66	60.5	(5.5)	STS410
						*6 T48-F066 ～ フィルタ装置入口配管合流点	854	66	60.5	(5.5)	STS410
									60.5 *7	(5.5) *7	STS410 *7
							200	66	60.5	(5.5)	STS410
									61.1 *7, *8	(6.1) *7, *8	S25C *7
									61.1 *8 / 61.1 *8 / —	(6.1) *8 / (6.1) *8 / —	S25C
						2.0 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS316LTP	
								76.3 / 60.5	(5.2) / (5.5)	SUS316LTP	
						*6 フィルタ装置水補給接続口 (屋外) ～ フィルタ装置	854	200	60.5	(5.5)	SUS316LTP
									61.1 *7, *8	(6.1) *7, *8	SUS316L *7
									61.1 *8 / 61.1 *8 / 61.1 *8	(6.1) *8 / (6.1) *8 / (6.1) *8	SUS316L
									60.5	(5.5)	SUS316LTP
									61.1 *7, *8	(6.1) *7, *8	SUS316L *7
					61.1 *8, *9	(6.1) *8, *9	SUS316L *9				



変更前						変更後					
名 称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力*3 (kPa)	最高使用温度*3 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
原子炉格納容器フィルタベント系	—	—				原子炉格納容器フィルタベント系 *6 フィルタ装置水補給接続口 (屋内) ～ フィルタ装置	2.0 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS316LTP
									76.3 <sup>*7</sup>	(5.2) <sup>*7</sup>	SUS316LTP <sup>*7</sup>
									76.3	(5.2)	SUS316LTP
									60.5	(5.5)	
									60.5	(5.5)	SUS316LTP
									61.1 <sup>*7,*8</sup>	(6.1) <sup>*7,*8</sup>	SUS316L <sup>*7</sup>
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	SUS316L
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	
									—	—	SUS316L
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	SUS316L
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	
									61.1 <sup>*8</sup>	(6.1) <sup>*8</sup>	SUS316L
									61.1 <sup>*8,*9</sup>	(6.1) <sup>*8,*9</sup>	SUS316L <sup>*9</sup>
60.5	(5.5)	SUS316LTP									
61.1 <sup>*7,*8</sup>	(6.1) <sup>*7,*8</sup>	SUS316L <sup>*7</sup>									
61.1 <sup>*8,*9</sup>	(6.1) <sup>*8,*9</sup>	SUS316L <sup>*9</sup>									
			854	200							

注記\*1 : 外径は公称値を示す。

\*2 : ( )内は公称値を示す。

\*3 : 重大事故等時における使用時の値。

\*4 : 本設備は、既存の原子炉格納容器（配管貫通部）であり、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）として本工事計画書で兼用とする。

\*5 : 本設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器調気設備（原子炉格納容器調気系）であり、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）として本工事計画書で兼用とする。

\*6 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（原子炉格納容器フィルタベント系）及び圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（原子炉格納容器フィルタベント系）と兼用。

\*7 : エルボを示す。

\*8 : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。

\*9 : フルカップリングを示す。

\*10 : 本設備は、既存の圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（可搬型窒素ガス供給系）であり、圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置（原子炉格納容器フィルタベント系）として本工事計画書で兼用とする。